



左：エフオン白河木質バイオマス発電所



右上：和歌山県橋本市



右下：秋田県秋田市



# あの街から学ぶ **しおじりの明日**

平成30年度は、総務生活・福祉教育・産業建設3つの常任委員会が、次のとおり各地の先進事例の視察を行いました。  
※詳細は順次ホームページに掲載します。

## 総務生活委員会

平成30年10月17日～19日

### タイムライン防災

(三重県紀宝町)

タイムライン防災とは、発災前から予想可能な風水害である台風に対し、いつ、だが、何を、を時系列で整理したもので、事前の対策によって被害を最小限にとどめることを目的としている。紀宝町は、熊野川を挟んで和歌山県新宮市に隣接する。平成23年には台風による豪雨で熊野川とその支流が氾濫し、流域の広大な地域が浸水した。輪中堤すら決壊する被害から、教訓としてこの計画が策定された。

### 移住・定住促進事業

(和歌山県田辺市)

山村林業課が移住担当職員を配置し、移住相談の総合窓口となっている。合併前の旧町村を移住推進地域とし、中山間地の短期滞在施設や空き家の紹介など幅広く取り組み、移住希望者に対し、物心両面で幅広い支援を行う



輪中堤の説明を聞く(三重県紀宝町)

ている。熊野古道の入り口として、市内いたるところに外国人観光客が多いことにも驚かされた。  
シテイセールス基本方針

(和歌山県橋本市)

橋本市は、大阪・京都・和歌山・奈良の各都市部への通勤が可能などころに位置している。人口減少を食い止めるため、当市の認知度を高め、移住定住を促進しようとする取り組みである。通勤圏としての地の利、子育て環境、歴史・名勝、地場産業などの当市の特徴を、多様な情報発信によって多様な対象者に伝えようとしている。